

主な出来事

【内政】

- 24日、国民議会で2016年度の政府予算案が可決された。一般会計の総額は、2015年度の2兆8,690億3,200万FCFAに対し、2016年度は3兆673億9,000万FCFAとなった。

【外政】

- 9日から10日にかけて、セネガルにおいて第2回平和と安全のためのダカール国際フォーラムが開催された。セネガルからはサル大統領が出席し、トーゴ及びガボンからはそれぞれ首相が出席した。また、ル・ドリアン仏国防大臣、スペイン国防大臣及び米国防次官補代理が参加し、サヘル地域におけるテロ対策や麻薬・武器の不法取引等について議論が行われた。
- 11日から12日にかけて、移民・難民問題を議題とするEUとアフリカ諸国の首脳会合がマルタの首都バレッタで開催された。EU加盟国代表として、メルケル独首相、オランド仏首相、キャメロン英首相等が参加し、セネガルからはサル大統領が参加した。

【経済】

- 18日、省庁間評議会において、アブドライ・セック農業・農業施設大臣は、2015年の農作物の収穫状況に関する報告の中で、穀物の収穫量は2014年と比較して57%増の2,271,082トン、米は64%増の917,371トン、落花生は68%増の1,121,474トンである旨発表した。

【内政】

(1)2016年度予算政府案

- 24日、国民議会で2016年度の政府予算案が可決された。一般会計の総額は、2015年度の2兆8690億3200万FCFAに対し、2016年度は3兆673億9000万FCFAとなった。バ・経済・財務・計画大臣は、セネガル新興計画(PSE)の資金調達にかかる外部依存を軽減するため、今回初めてPSEに対して1兆FCFAの予算を割り当て、そのうちの58%は国内調達資金である旨発表した(25日 Le Soleil)。
- カザマンズの反地雷対策支援プロジェクト(PALAC)に対する2016年度予算は、2015年の5億FCFAから40%減となる3億FCFAとなった。政府は2014年に888,000平米に対して地雷除去を行ったことを減額の理由としている(25日 Populaire)。

(2)テロ対策関連

- サル大統領は、第2回平和と安全に関するダカール国際フォーラムにおいて、セネガルにおけるブルカの着用を禁止する旨発表した。ブルカはセネガルの文化に適していないこと、また、セネガルのイスラム教のイメージに合わないことが理由である(17日 Observateur)。  
(当館注:ブルカはイスラム女性の着る目だけを残して頭から足元まですっぽり覆う薄絹地の服。ヒジャーブとも呼ばれている。現在までのところ、実際に禁止されてはいない。)
- 10日、ラミン・シセ前参謀総長は、第2回平和と安全のためのダカール国際フォーラムにおいて、セネガル

は国境の安全強化のため、戦闘機 2 機をフランスから購入する旨発表した(11 日 Observateur)。

- 16日、チャドに駐在する仏情報局は、3名の宗教指導者とボコ・ハラムの電話の会話の盗聴から、ダカールでテロが企てられているという情報を入手した。当地日刊紙Observateurの記者がセネガル警察に本件を照会したところ、同警察は一切記者の質問に応じなかった。また、ダカール国際フォーラムに参加した仏国防省幹部は、今後セネガルはボコ・ハラムとアルカイダにとって主要な標的になると発言している(16日 Observateur)。
- 20 日、アメリカ・アフリカ軍の麻薬対策部は、薬物取引対策及び国境安全強化のため、セネガル海軍に対して巡視船(メタルシャーク)を 2 隻供与した(21 日 Sud Quotidien)。

### (3)その他

- 3 日から 5 日にかけて、ダカールにて 2015 年世界知的所有権におけるアフリカ閣僚級会議が世界的所有権機関 (WIPO)、アフリカ連合 (AU) 及び日本 (特許庁) の協力のもと開催され、ジョヌ首相が出席した。同会議では、アフリカにおける知的所有権の有用な活用について議論され、同首相は、所有権を活かすことでアフリカは国際商業取引の場において、大いに利益を得ることができる旨発言した(4 日 Le Soleil)。
- セネガルにおいて、プラスチック製袋の生産、輸入及びその保持を禁止する法律が来年1月4日から施行される(26 日 Observateur) (当館注:プラスチック製の袋の中でも特に素材の薄い脆弱な素材に限る。)
- 13 日、日本大使公邸において、日本式のユーモアな小話である落語が桂サンシャイン氏によって紹介された。観客の大多数が落語を知らない中、同氏は好奇と期待の拍手で迎えられ、会場入りすると同時にその風貌と笑顔で観客を魅了した(16 日 Walfadjri)。

## 【外政】

### (1)ダカール国際フォーラム

- 9 日から 10 日にかけて、セネガルにおいて第 2 回平和と安全のためのダカール国際フォーラムが開催された。セネガルからはサル大統領が出席し、トーゴ及びガボンからはそれぞれ首相が出席した。また、ル・ドリアン仏国防大臣、スペイン国防大臣及び米国防次官補代理が参加し、サヘル地域におけるテロ対策や麻薬・武器の不法取引等について議論が行われた(10 日 Sud Quotidien, 11 日 Le Soleil)。
- 9 日、第 2 回平和と安全のためのダカール国際フォーラムに、日本から濱地雅一外務大臣政務官が出席し、スピーチを行ったところ概要以下のとおり。
  - 1)日本の TICAD を通じたアフリカの平和と安定のための取組、
  - 2) 2016 年 TICAD VI の初のアフリカ(ケニア)開催、
  - 3)ヴァルス仏首相訪日時に策定された日仏アフリカ協力計画、
  - 4)国連安保理非常任理事国及び G7 議長国としての日本の世界平和推進、
  - 5) PKO の早期展開プロジェクトに対する支援(4 千万ドル拠出)、
  - 6) 平和維持のためのアフリカの人材育成と能力強化に対する支援の必要性(11 日 Le Soleil)。

## (2)EU アフリカサミット

- 11日から12日にかけて、移民・難民問題を議題とするEUとアフリカ諸国の首脳会合がマルタの首都バレッタで開催された。EU 加盟国代表として、メルケル独首相、オランド仏首相、キャメロン英首相等が参加し、セネガルからはサル大統領が参加した(12日 Sud Quotidien)。
- サル大統領兼 ECOWAS 議長は EU アフリカサミットのスピーチにおいて、教育、研修、雇用及び収入を生む活動を通じて若者が希望を持つことができる豊かな未来を築くことは、我々の責務である旨発言した。また、移民抑制のための信託基金へのアクセスの条件をより包括的にすること及びその金額を増額することを要請した(12日 Le Soleil)。

## (3)アンタルヤ・サミット(G20)

- 15日、アンタルヤ・サミット(G20)のワーキングランチにおいて、サル大統領は、アフリカ・インフラ開発プログラム(PIDA)の16の優先プロジェクトについて支援を要請した。また、2003年にAUが発表した包括的農業開発プログラム(PDDAA)に対しても G20 からの率先した財政支援を期待する旨述べた(17日 Le Soleil)。

## (4)その他

- セネガル外務・在セネガル人省は、セネガルが次期(2015年～2019年)UNESCO 執行委員国に選ばれた旨コミュニケを発表した。執行委員会は58か国の政府代表で構成され、ユネスコの意思決定プログラムに参加する(12日 Le Soleil)。
- コンデ・ギニア大統領は、ECOWAS 議長であるサル大統領に対し、テロの攻撃からのリスクを軽減するためにECOWAS 諸国におけるブルカの着用の全面禁止を要請する旨の書簡を発出した(26日 Observateur)。

## 【経済】

### (1)2015年の穀物収穫量

- 18日、省庁間評議会において、アブドライ・セック農業・農業施設大臣は、2015年の農作物の収穫状況に関する報告の中で、穀物の収穫量は2014年と比較して57%増の2,271,082トン、米は64%増の917,371トン(うち天水稲作57%)、落花生は68%増の1,121,474トンである旨発表した(19日 Sud Quotidien)。

### (2)公共投資3か年計画

- 省庁間会議にて、今後の公共投資の3か年計画(2016年～2018年)の総予算3兆8,660億FCFAのうち、20%にあたる7,660億FCFAが第一次産業に割り当てられ、食糧安全保障及び貧困削減のための農業分野に対して5,331億FCFAが割り当てられることが決定された(12日 Observateur)。

### (3)修正財政法案

- 19日、国民議会にて、セネガル新興計画(PSE)における優先事項に対し、1,212億FCFAの予算を追加投入する修正財政法案が可決された(20日 Sud Quotidien)。

#### (4)セネガル電気公社 SENELEC

- SENELEC は、ダンテック病院、ファン病院及びグランヨフ病院等に対し、電気代の未払いを理由に電気供給を停止する旨決定した。SENELEC に対する病院の滞納額は、ダンテック、ファン病院共に 10 億 FCFA、グランヨフ病院は 7 億 FCFA と高額なため、即座の返済は困難である。他方、保健省に 1,370 億 FCFA の予算がある一方で、病院に対しては 110 億 FCFA を全ての病院で分配している状況であり、病院側から不満の声があがっている(19 日 Observateur)。

#### (5)経済協力

- 24 日、セネガル国内に高速インターネットを普及させるため、中国が 508 億 FCFA の融資を決定した。施工業者は中国企業の Huawei で、ファイバーオプティックケーブルを国内 12 地域に整備し、ダカールの同ケーブルを強化する。これにより、2000 人の直接・間接雇用が創出される見込み(25 日 Le Soleil)。(了)